



豊橋市の都市交通施策

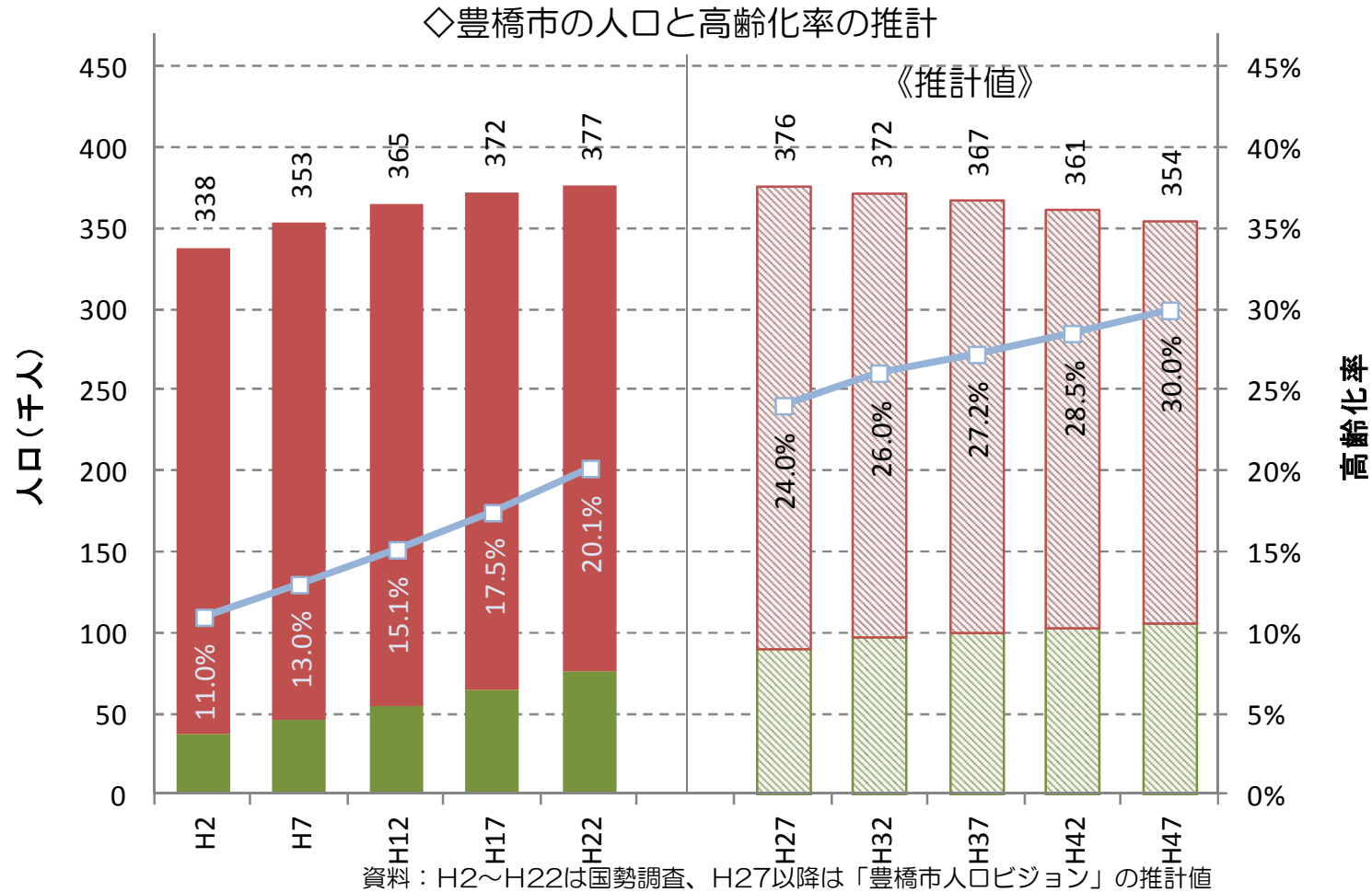
EST創発セミナー資料
平成28年1月19日

豊橋市



1. 豊橋市の概要

急速な人口減少と高齢化



○H47には人口が約35.4万人に減少し、高齢化率は30%に達すると予測



2. 豊橋市の交通の概要

公共交通路線網

○鉄道

JR東海道新幹線
JR東海道本線
JR飯田線
名古屋鉄道名古屋本線
豊橋鉄道渥美線

○路面電車

豊橋鉄道東田本線

○路線バス

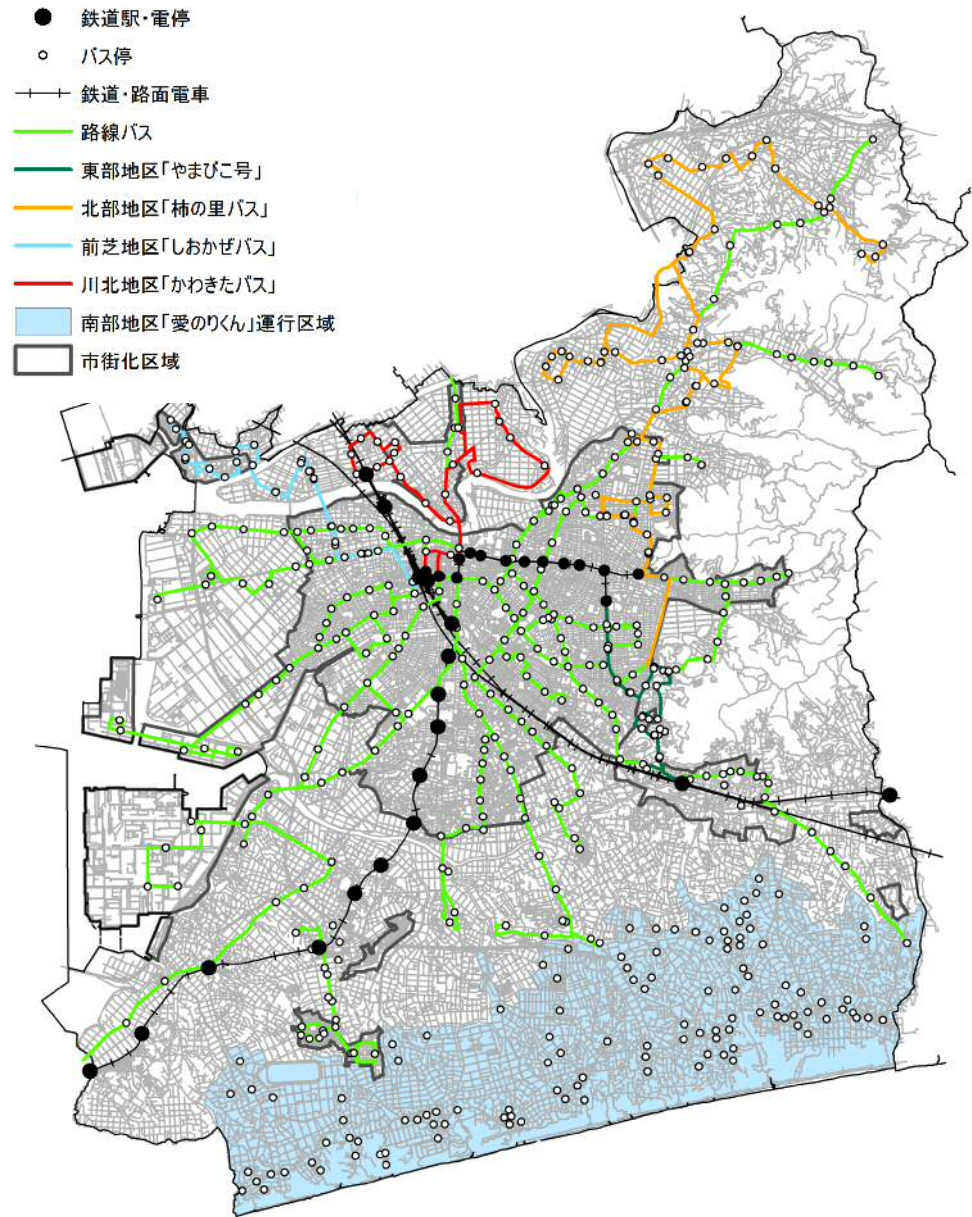
豊鉄バス

○タクシー

法人タクシー（4社）
個人タクシー

○コミュニティバス

（「地域生活」バス・タクシー）
5地区



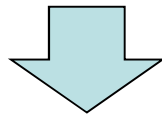


3. 豊橋市のまちづくり

豊橋市都市計画マスタープラン（平成23年3月策定）

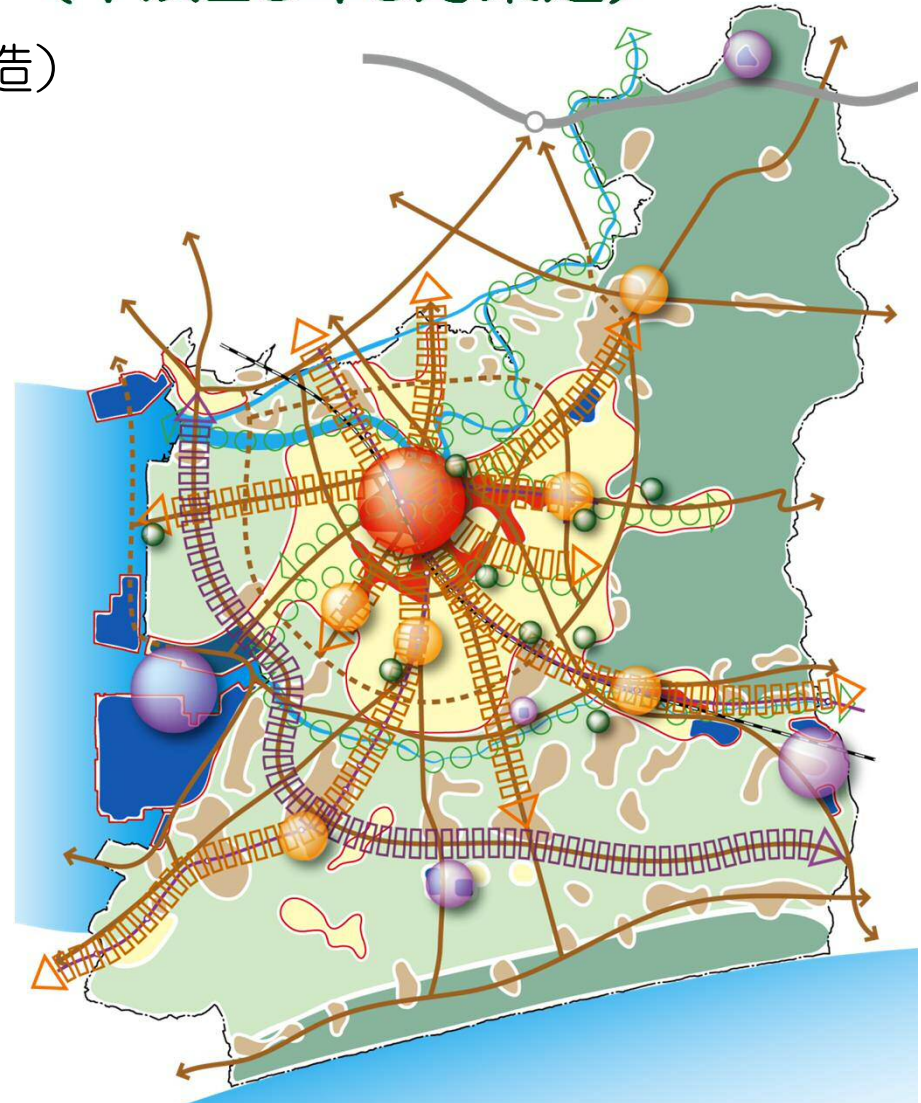
目標年次における都市の姿（都市構造）

公共交通を軸に拠点を中心とした
集約型の都市構造



さまざまな都市機能が使いやすく
配置された、自家用車に頼らなく
ても誰もが自由に移動でき、快適
に過ごせるまち

凡 例					
拠 点	軸		地 域		
	都市拠点		公共交通幹線軸		住居系地域
	地域拠点		水と緑の環境軸		商業系地域
	水と緑の拠点		産業促進幹線軸		工業系地域
	産業拠点	その他			集落地域
			鉄道・駅		農業地域
			新幹線		自然地域
			幹線道路		市街化区域





4. これまでの取組み

1. 路面電車に関する取組み

- ① 安全島の無い停留場（競輪場前停留場）の改良【平成18年度】
- ② パーク&ライド駐車場の整備（赤岩口停留場）【平成18年度】
- ③ 停留場（札木・市役所前・豊橋公園前・運動公園前）のバリアフリー化【平成19年度】
- ④ 低床車両（LRV）の導入（愛称：ほつトラム）【平成20年度】
- ⑤ ICカードシステムの導入【平成22年度】



市役所前電停のバリアフリー化



全面低床車両ほつトラムの導入

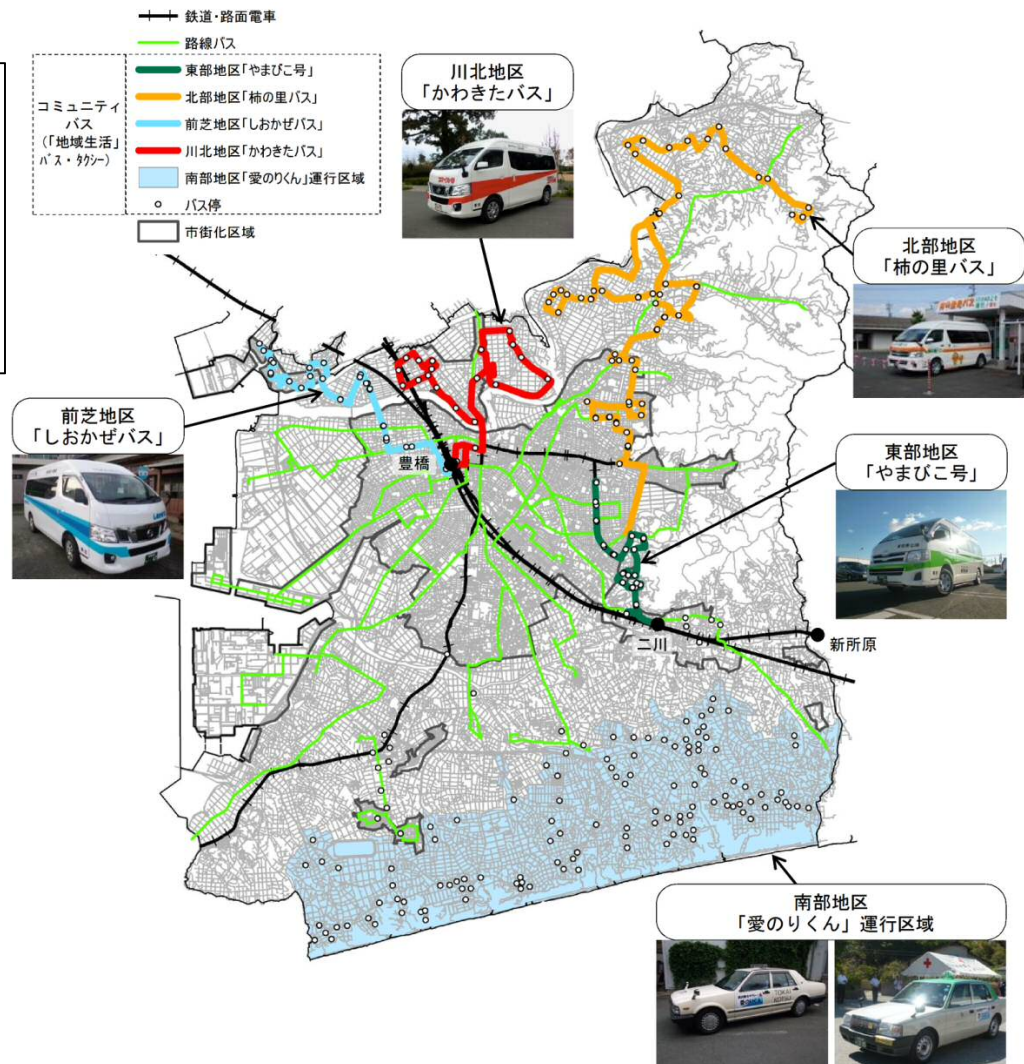
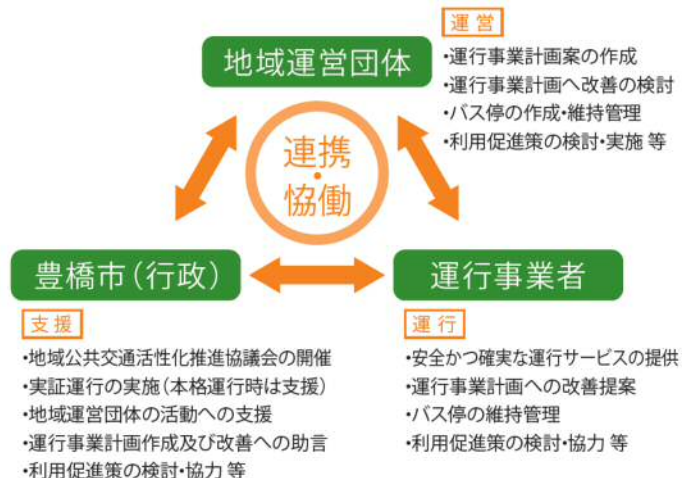


4. これまでの取組み

2. コミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の運行

「地域生活」バス・タクシーとは、交通事業者による従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域において、その地域の住民が主体となって日常の移動手段として確保する公共交通

「地域生活」バス・タクシーの運行は、地域運営団体・運行事業者・豊橋市の3者の連携・協働により行っています。





4. これまでの取組み

3. エコ通勤の推進

◇市役所職員のエコ通勤運動（H22年度～）

市役所の職員が率先して自動車やオートバイから、自転車や徒歩、電車、バス、車の相乗りなど、環境にやさしい交通手段で通勤する運動

【目的】

1. 地域レベルでの地球温暖化防止の貢献
2. 交通渋滞の緩和及び公共交通機関の活性化への寄与
3. 職員の健康増進

【取組み内容】

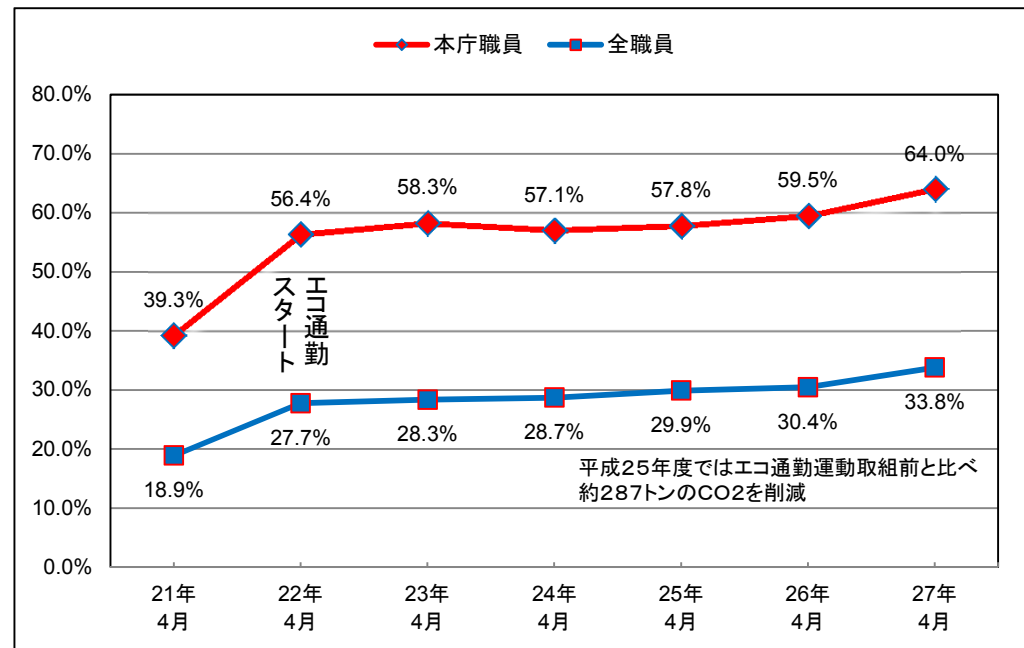
1. 「エコ通勤管理者」の設置
2. 通勤手当の見直し
3. 職員互助会掛金を活用した取組

交通関係 環境保全優良事業者等大臣表彰の受賞



写真：国土交通省 エコ通勤ポータルサイトより

エコ通勤率の推移



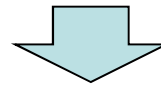


4. これまでの取組み

4. 自転車活用の推進

◇豊橋市自転車活用推進計画の策定（H26年3月）

自転車の位置付けを明確にするとともに、自転車の通行空間及び利用環境の整備や安全利用の促進により、自転車の活用を推進



自転車を本市の都市交通体系において、**近距離（5km以内）の移動における最も重要な交通手段**として位置付け

【取組み内容】

〔自転車通勤促進セミナーの開催〕 (H27年9月)

健康・環境・コストの問題を同時に解決します！

とよはし
自転車通勤
促進セミナー

日程 9/11(木) PM1:30~ (開場 PM1:00)
会場 豊橋市役所 講堂 (13階)
定員 120名 (参加申込み先着順・参加費無料)

講演 140分 | エコ通勤事例紹介 30分 | 質疑 意見交換 10分

講演「自転車通勤は「健康促進・環境改善・効率向上」の切り札」
講師 古賀 孝彰 国土交通省国土政策局 自転車推進課 課長補佐
国土交通省の最新施策、最新技術、最新事例の紹介について、ご講演いただきます。

豊橋市の「ヤマハ共創のまち」の推進と関係について
講師 ヤマハ 藤原 隆 (株)
国土交通省の最新施策とヤマハの取り組みについてご講演いただきます。

主催：豊橋市 後援：豊橋商工会議所



〔自転車通行空間の整備〕

- H25~26年度に社会実験を実施
- H27年度より本格的な整備を開始

整備前



整備後





4. これまでの取組み

5. サイクル&ライド駐輪場の整備

◇井原駐輪場の整備
(井原電停付近)



- H26年度整備
- 駐輪台数52台
- 沿線住民から土地を活用して欲しいとの申し出により実現
- 計画台数以上の利用



4. これまでの取組み

6. カーフリーデーの実施

- 平成25年度より世界的な取組みであるヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーに参画
- 豊橋市民1人1人が車と都市、車と地球環境、車と都市文化等、持続可能な都市交通や移動方法について考える機会となるイベント「とよはしカーフリーデー」を開催



ミニほつトラム乗車体験



まちなかマルシェ



コミバスdeシャトルバス



おえかきエコバック・下敷き

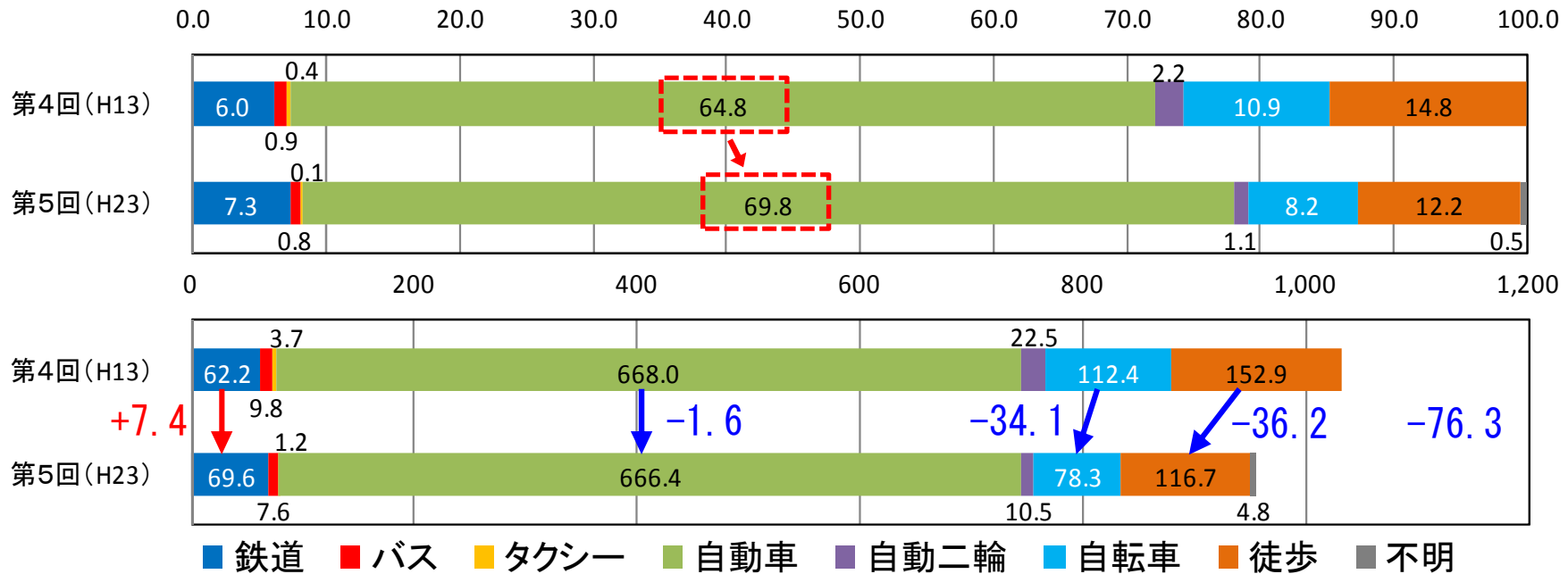
まちなかで開催された他のイベントと連携し、イベント会場間の移動や帰りに使える切符の進呈等を実施



5. 交通に関する課題

自動車利用割合の増加

◇代表交通手段別の分担率とトリップ数の変化



資料：中京都市圏パーソントリップ調査

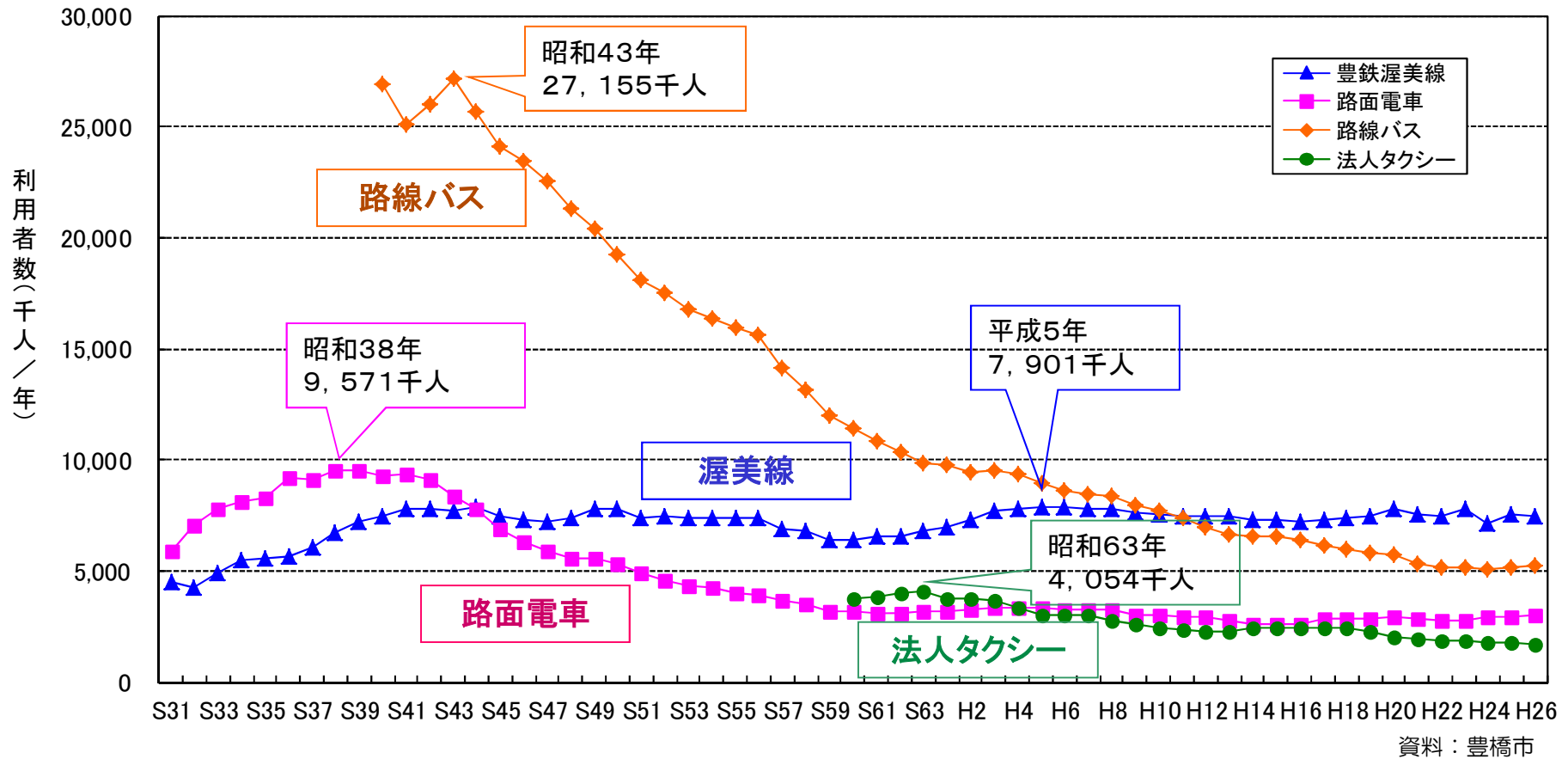
- 自動車の利用割合が平成13年度時点の約65%から平成23年度時点で約70%に増加
- 豊橋市全体で移動が減少しており、中でも自動車での移動の減少に比べ、自転車や徒歩など他の移動の減少が大きい



5. 交通に関する課題

公共交通利用者の減少

公共交通の利用者数の変化





6. 豊橋市都市交通計画2016-2025（素案）

（H28年3月策定予定）

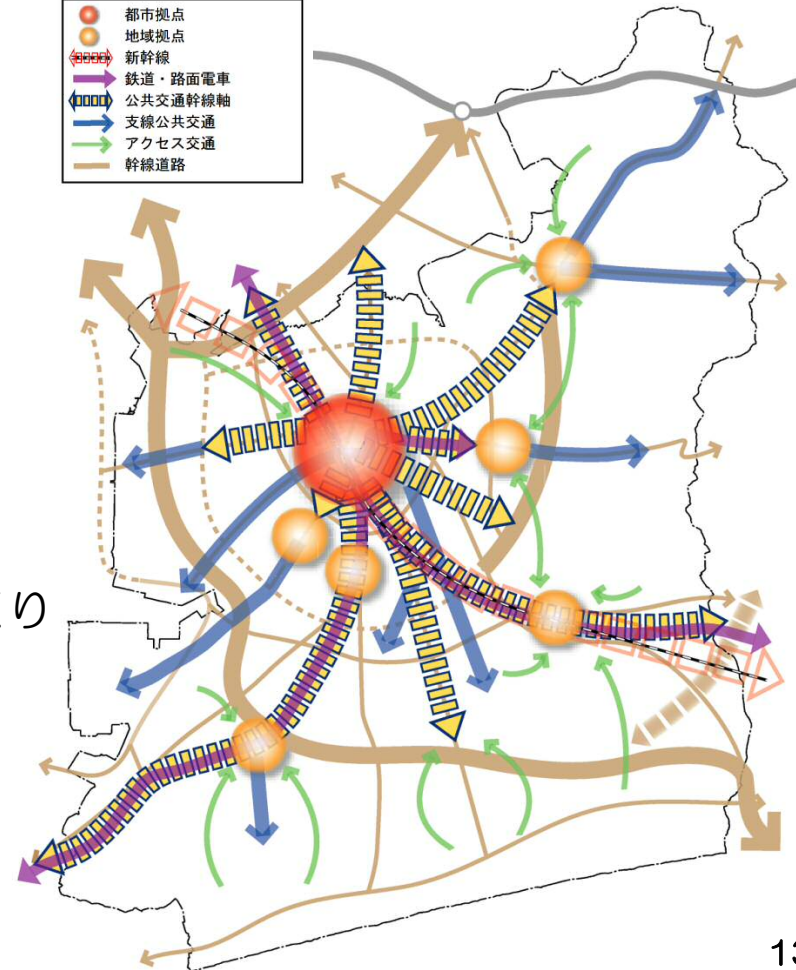
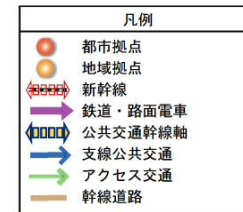
集約型都市構造の実現に必要な、今後10年の新たな都市交通のあり方と、ハード・ソフトが一体となった具体的な交通施策を示す計画

将来（平成37年度頃）の都市交通体系のイメージ

【基本理念】

多様な交通手段を誰もが使え、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築

- 基本方針1 安全・安心で快適に移動できる交通づくり
- 基本方針2 まちの魅力・活力を高める交通づくり
- 基本方針3 環境・健康を意識した交通づくり





6. 豊橋市都市交通計画2016-2025（素案）

戦略1：公共交通幹線軸の強化

- ◇幹線バスの高規格化
- ◇路面電車・渥美線の機能の維持・強化
- ◇公共交通の利便性向上

戦略2：地域拠点等における交通結節機能の強化

- ◇交通結節点へのアクセス性の向上
- ◇乗換え機能の強化
- ◇交通結節点周辺のまちづくりのとの連携

戦略3：まちなか交通の魅力向上

- ◇路面電車の魅力向上
- ◇回遊性・アクセス性の向上
- ◇まちなかのまちづくりとの連携

戦略4：自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換

- ◇交通手段を賢く使い分ける意識変革
- ◇多様な交通手段が共存できる道路空間の整備
- ◇自転車活用の推進